



ACL-Times Vol.21

2010/11/12

発行元:株式会社 足利セラミックラボラトリー 編集:宗村裕之/宗村政明/遠藤隆雄/吉田寛康 レイアウトデザイン:ACLサービス事業部



国際インプラント学会学術大会 2010

Academy of International Advanced Implantology ANNUAL MEETING 2010 Tokyo



大会案内ポスター

11月7日、東京都神田の総評会館にて「国際インプラント学会(AIAI)学術大会2010」が開催されました。

AIAI理事でもある弊社代表の宗村を筆頭に、弊社も一丸となり今回の学術大会のために様々なお手伝いを致しました。まずは成功裏に無事終了致しました事をご報告致します。様々なご協力を頂き、誠にありがとうございました。



総評会館外観

当学術大会では、歯科医師や衛生士、技工士の方々を対象に様々な講演が行われ、講演者は29名にも及びました。特に目玉となった「サイナスシンポジウム」では、小川勝久先生を座長とし、5名の著名な先生達がサイナスリフトの危険性、方法論、私見、症例など多岐に渡り講演され、大勢の歯科医療従事者が大いに関心を持たれたようです。一般的になりつつあるインプラント術式ですが、歯槽骨吸収が著しい患者からのニーズも増えてきているのが現状との事、今回のセミナーではそういったニーズにどのように対応して行くのか、またトラブルがあった場合はどうすれば良いのか、などと、先生方の熱い意見が飛び交い、非常に重厚な内容となったようです。

歯科技工士を対象とした講演では、ヘレウスクルツァー・ジャパンの小野寺保夫先生、浅野デンタルアート代表の浅野正司先生、富泉会C・B・ラボの石川浩一先生、そして弊社代表の宗村裕之、弊社アメリカ法人ACL Hawaii, Inc代表の谷崎折磨がそれぞれ講演しております。多数の技工士の方々に聴講して頂けたようです。



企業展示ブース。多数の企業が参加し、盛り上がりを見せる。



開会直前の受付前。混雑し、順番待ちとなっていました。



サイナスシンポジウムで講演される韓国のキムヨンイル先生。左に見える人は通訳の人。



感謝状を授与される小川勝久先生(右)と、当学術大会理事長の杉山尚隆先生。



宗村による歯科技工士会員発表「CAD/CAMで製作するインプラント上部構造」



谷崎折磨による認定歯科技工士教育講座「より簡素化されたインプレッションシステムの術式」



弊社技工物の案内をする弊社スタッフ。遠藤隆雄(左)・宗村政明(中)・吉田寛康(右)



懇親会であいさつする代表宗村



弊社スタッフ



慰労会にてAIAI理事長との乾杯

当日は予想以上に沢山の方々に越し頂き、席が足りず立ち見となりました。弊社スタッフも一日中様々な対応に追われ、疲労の色を隠せなかったようです。

終了後、講演された先生方と理事会メンバー、歯科医師達との間でビュッフェスタイルの懇親会が行われ、様々な先生達と共に当大会の成功を祝い合い盛り上がりました。スタッフの間でも別途慰労会が行われ、こちらも大盛況となりました。

国際インプラント学会AIAIは歯科医療に貢献して行く事を念頭に、益々の発展を目標としております。次回学術大会の開催は2011年11月6日の日曜日となります。今回ご参加頂いた方々、またご参加頂けなかった方々も来年はぜひよろしくお願い致します。

右写真上から
1枚目:受付前の様子 2枚目:サイナスシンポジウムが行われたメインホール 3枚目:小林文夫先生(左)野阪泰弘先生(中)小川勝久先生(右)
4枚目:菅井敏郎先生(左)キムヨンイル先生(中)糸瀬正道先生(右) 5枚目:懇親会での集合写真